

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 千代 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における保健体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走・20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

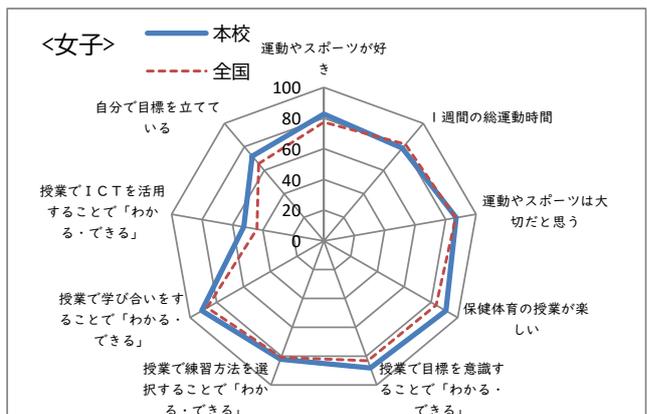
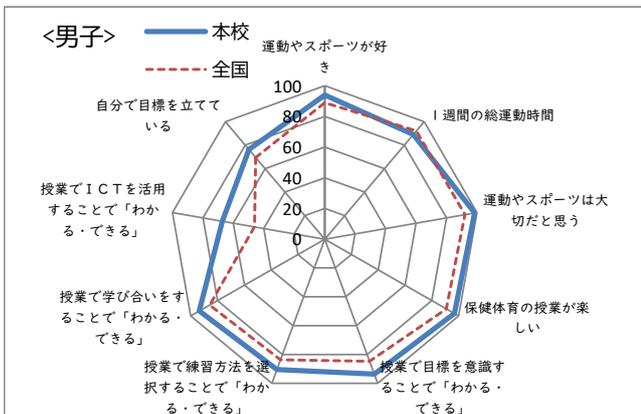
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.99	25.74	43.87	51.05	409.81	78.07	8.06	196.89	20.28	41.04
本市	29.89	26.05	45.62	51.43	411.48	79.38	7.98	200.49	20.64	42.89
本校全国平均以上の種目	○	○	○		—	○	○	○		○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.21	21.67	46.07	45.81	302.89	51.60	8.96	167.04	12.45	47.42
本市	23.48	21.58	47.11	45.64	303.38	50.85	8.95	169.09	12.41	48.27
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

本校の質問紙調査の結果から、全国平均を上回る項目が多く見られた。特に「授業でICTを活用することで、わかる・できる」の項目における男子の数値が全国と比べて20%上回っていた。一方で、本校の「1週間の総運動量」の項目に関して、男女とも全国をわずかに下回っていた。このことから、普段の学校生活では保健体育の授業を通して十分な運動を行うことができているが、保健体育の授業以外で日常的に運動を行う習慣化がややなされていないと考えられる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で）

毎時間、授業の導入段階で各種目に応じた補強運動を取り入れることを通して基礎体力の向上を図る。特に反復横跳び、ハンドボール投げの数値の向上を図るために、敏捷性、巧緻性、瞬発力を高める補強運動を取り入れていく。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

タブレット端末を用いて、自宅でも気軽に運動ができる環境を整え、保健体育の授業以外の時間でも日常的に運動を行うよう促していく。また、学級通信や学校通信などを通して生徒や保護者の運動に対する興味関心を高める取組みを行っていく。